

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	聴覚障害児支援かいじゅうの森		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日	~	令和7年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日	~	令和7年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ障害をもつ仲間との集団がある	手話と口話でコミュニケーションをとる	手話がまだ未熟な年齢の子には、視覚情報もつかう
2	手話で話せる友だち、スタッフがいる	健聴のスタッフも手話を覚える	手話力を向上させるために常に使う
3	視覚情報を子どもの状況い合わせて掲示している	掲示の仕方などの研修を受け、子どもたちの立場を想像して環境を整えている	分かりやすい掲示、示し方の研鑽を積む

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流が少ない	コミュニケーション手段の相違 地域との現在の関係性を考えると難しい	地現在発信しているNPOの行事を更に地域に発信していく
2	父母の会や保護者同士が集まる会を設定していない	時間の調整が難しい	次年度4月に保護者会を設定している
3	他の障害に対する知識、技術不足	今年度はスタッフ税員で受ける研修機会を持てなかった	スタッフ研修に積極的に取り組んでいく